



Lis Blanc

(リス・ブラン)——フランス語で「白百合」

No.85 学報リス・ブラン(白百合)

発行/仙台白百合女子大学 〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号
TEL 022-372-3254 URL <https://sendai-shirayuri.ac.jp>

(転用・転載を禁じます) 編集/大学広報室

本号の主な内容

- 01 巻頭言
- 02 教員や学科の学び紹介
- 04 キャンパスライフ
- 06 和田先生を偲んで・
留学生紹介
- 07 2022年度財務報告・
寄付金募集について
- 08 2024年度学生募集要項



イルカ、ヒト、そして「いじめ」

人間学部長
大本 泉

世界遺産に登録された、潜伏キリシタンの住んでいた天草の崎津集落に行ったことがある。二五〇年間、密告者もなく五〇〇〇人程の信徒が存在していたことに心うたれた。そして、猫のいる湯島、イルカウォッチングのできる五和町にも足をのぼしてみた。天草市で体験したクルーズでは、集団で泳ぐ野生のイルカを見ることができた。餌付けはしていないという。近づいて来て船底を潜る子どもイルカもいる。目が合った。イルカも好奇心からヒトを観察する。知能の高い哺乳類ゆえに、自閉症の治療に役立てたり、軍事用利用されたりすることもある。フレンドリーでかわいいイメージがある一方、福井県の海水浴場で人にかみついたイルカが出没する事件もあった。

最近、茜灯里氏の著書『ビジネス教養としての最新科学トピックス』（集英社インターナショナル）を読んで衝撃を受けた。スコットランドのセントアンドルーズ大学の研究によると、「ハンドウイルカはストレスが溜まつたり退屈したりすると、自分よりも小さい個体や弱っている個体に噛みついていじめたり、メスイルカをオスの集団がなぶつたりすることもある」というのだ。まるで、いじめ社会問題を抱える人間世界のようなのである。

ここで思い出すのは、宮沢賢治の『よだかの星』『セロ弾きのゴーシュ』『銀河鉄道の夜』等の中心人物たちも、皆

いじめられていたことだ。物語には、弱い立場にある登場人物たちへの賢治の共感と優しいまなざしとが窺われる。確かに「こども家庭庁」は健闘しているようだが、いじめを防ぐ手立てのひとつとして、社会体制の整備があげられる。そして、それを支えていくのは、『孟子』の惻隱の情にも連なるキリスト教の愛を大切にしよう。あなたを愛する隣人をあなた自身のように「愛せよ」の教えが万人に共有されれば、いじめも減っていくにちがいない。換言すれば、自分自身を大切にすることこそ、他者の生存在を慈しむことができると思われる。

本学人間学部では、人間への理解と援助をキーワードとして教育目標を掲げ、人間を客観的に探求・研究するカリキュラムを組んでいる。とくに愛の大切さを理解する「キリスト教学」、「人間論」は、次世代を担っていく学生に、未来の子どもたちを産んで育て、援助していく自覚と責任感を持ち、真の「共生」社会の意味を問う契機を与えている。本学の教職員一同、学生「一人ひとりが輝くために」研究と生活面をサポートしている。そして学生自身も「一人ひとりを輝かせるために」他者と生きる使命と喜びとを発見するために考察し、語り合う場も設けている。

このように本学では、女性として人間として、いじめや差別のない社会をつくる取り組みも推進している。

英語教育におけるグラフィック・デザインの活用の可能性

子ども教育学科 講師

坂場 寛子



「ネイティブのように英語を話せるようにしたい」という思いで渡米し、学部時代をウイスコンシン州マジンソン市で過ごしました。ほとんどの講義でデイスカッションや大量のリーディングやエッセイの課題があり、「話す」だけでなく総合的な英語の運用能力を向上させるためにも貴重な経験を得ることができました。大学ではグラフィック・デザイン（ポスターなどの印刷物やウェブサイトなどの平面的デザイン全般）を専攻しました。当時の担当教員が最初の講義で述べた「デザインとは、問題を解決するためのツールの一つである」という言葉は、私の中の「デザイン」という言葉の概念を壊し、今もなおデザインの魅力に魅せられている大きな理由の一つです。これらの経験は、現在取り組んでいる英語教育と中心とした応用言語学とデザインを融合させた研究や英語の授業実践に大きく影響しています。

インターネットにはあらゆる情報が溢れ、スマートフォンで写真を撮るだけで和訳することのできるアプリなどの翻訳機能が気軽に使えるようになったいま、これまでよりもさらに英語を含む外国語学習者のモチベーションを高めるための工夫が必要になってきていると感じています。そこで、

担当している英語の授業では、学生が少しでも主体的に英語学習に取り組めるように、デザインを用いた工夫を試みています。

一つ目は、「分かりやすさ」のためのデザインです。授業で使用するスライドは可能な限りシンプルにし、テキストより記号、イラストや図などの視覚要素の方が理解しやすいと思われる部分は視覚要素に置き換えます。二つ目は、言語活動の「場面」を設定するためのデザインです。学生が英語で発話を考え練習するには、具体的な場面を想像することが必要であり、イラストや写真は大きな助けとなると考えます。三つ目は、考えるための「余白」のデザインです。デザインと言うと何をどのように配置するかを考えがちですが、何も配置しない余白もデザインの対象です。授業スライドやワークシートを作成する際、自由な思考を促すために、余白を十分にとることを心がけています。

今後は、これらのデザインの工夫がどのように英語学習に影響を与えるかを検証し、英語教育におけるグラフィック・デザインの活用の可能性について研究していきたいと考えています。



暮らしの中の心理学

心理福祉学科 准教授

結城 裕也



私は心理福祉学科で主に心理学領域の科目を担当していますが、今回はその中でも「社会・集団・家族心理学A（社会心理学）」という科目について紹介します。

心理学と一口に言っても、心理学は大きく分けて「基礎心理学」と「応用心理学」に分類されます。基礎心理学とは、例えば認知心理学、発達心理学というように、すべての人間が持っている心の仕組みを、一般的な法則として説明しようとする学問です。一方で応用心理学とは、基礎心理学を踏まえた上で、生活の中の具体的な活用を目的とした心理学といえます。例えば、臨床心理学や教育心理学などがこれにあたります。

私が専門とする社会心理学は基礎心理学に含まれますが、社会心理学はときに「暮らしの中の心理学」と形容されることもあります。心理学は「一個人の心の過程」を対象とすることもありますが、前提として、人はひとりでは生きていきません。それは、単に誰かの助けを借りながら生活するという意味ではなく、必然的に自分以外の他者

との関わりの中で生きていかなければなりません。その意味で、我々は他者に影響を与え、影響を与えられる存在ということになります。

社会心理学をより理解してもらうために、皆さんに質問をしたいと思えます。あなたが道を歩いていると、目の前に倒れている人がいたとします。あなたはその人にとって、少なくとも手を差し伸べ、助けてあげるでしょうか。「助ける」と思った方、どんな時でもそう言い切れますか？例えば、自分以外にも周囲に3、4人いるような場合、「自分以外の誰かが手を差し伸べるだろう」とや「大袈裟に騒ぐと恥ずかしい思いをする」となどと考え、助けることをためらうことはないでしょうか。

このように、社会心理学はその人の性質（例えば、あたたかい、冷たいといった性格）に行動の原因を帰するのではなく、その人が置かれた状況（例えば、周囲に自分だけしかないのか、他の人もいるのか）を重視する学問なのです。

社会・集団・家族心理学A（社会心理学）では座学が中心となりますが、授業中に簡易な実験を行いその体験を通して人の心を理解したり、各種映像資料と座学で学んだことをリンクさせてより知識を定着させるなど、あらゆるアプローチから社会心理学の楽しさを学生に伝えていきます。

社会心理学に興味を持たれた方、一緒に人間のココロについて考えてみませんか？

みやぎの魚を食べよう
産学官連携の商品開発

健康栄養学科 准教授
氏家 幸子



宮城県の水産業の発展に貢献したい、もつと魚食を推進したいと宮城県水産業振興課様を訪ね、協定を結び活動してきて、

はや7年目になります。最初のきっかけは、学生が考えた「みやぎさかな合わせカード」でした。小学校での食育の授業の中でゲームをとおして宮城の魚の特徴を覚えられるカードでもよくできたので、水産むすび丸をあしらって千部作製していただきました。さらに続けて幼稚園、小学校の低学年でも楽しめる「みやぎさかな合わせカード」の教材開発。学生たちのアイデアで、こちらも保育園や幼稚園、児童館などで使っていたり、うにしました。

その後、コロナ禍で大学外の方との交流を制限せざるを得ない時期もありましたが、2021年度にはヨークベニマル様や仙台水産様をご紹介いただき、宮城県の魚介類を使った商品開発を産学官連携の下で行うことになりました。学生たちに期待されるのは、若者世代の感性や発想力です。若者が食べたいと思う商品は若者のアイデアから生まれるだろうということで、「自由に自分が食べたいものを提案して！」ということが求められました。自由に制限なく考えるのは、簡単そうでも難しいことで

す。ところが、学生たちのアイデアを関係の皆様は社員たちのアイデア以上にとてもいい、どれも捨てがたいと本気で褒めてくださいます。会議のたびにいつも学生たちの意見を尊重してくれて、製品に生かそうとしてくださいます。一方、学生たちは栄養や味のこととは分かっても、商品開発にはその他にパッケージのデザイン、表示に関する規制、原価を踏まえた価格決定や製造上の問題、賞味期限など総合的な観点が必要で、それをどう解決していくかは初めて学ぶこととなり、新鮮でした。また、こうした会議では自分の考えを述べることも求められます。そんな積み重ねを経て、本物の商品が出来上がったことは学生たちにとって大きな自信と喜びになったと思います。

昨年度は「ヤンニョム味の勝つおフレック」、「いわしボール」のトマト味と黒酢味を発売することができ、今年度は「いわしメンチ」をヨークベニマル様で販売することができました。一つのパッケージに産学官連携の印である水産むすび丸、ヨークベニマル様と白百合のマークの入った商品となつて陳列されています。広いスーパーの中ではわずかな商品ですが、学生たちの試行錯誤が形になったものです。見つけて手に取っていただけたら幸いです。



グローバル・スタディーズ
学科での学び

グローバル・スタディーズ学科 学科長
山田 恵



グローバル・スタディーズ学科は、グローバルな知識と視点と語学力を磨くことに焦点を充てた教育を提供する学科です。

現在は、英語学習に重点を置き、中学校と高等学校の英語の教員免許取得や児童英語教員の課程修了も可能な「イングリッシュインテンシブ」スタディーズコース、韓国語と中国語、アジア圏の文化と社会の学びに重点をおき、日本語教員の課程修了を中心に履修することもできる「グローバル文化」スタディーズコース、多文化共生やインバウンド、ジェンダーなどのテーマを掘り下げ、中学校社会や高等学校公民の教員免許も取得可能な「共生社会」スタディーズコースの3つのスタディーズコースがありますが、2025年度入学生より、インターネットとビジネスの知識や技術に学習の重点を置く「ITビジネス」スタディーズコースが追加される予定です。

グローバルな視点の育成には在学中に海外生活を経験することが重要だという観点から、留学と海外研修科目に特に力を入れています。本学の提携校長期留学プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金プログラムに3年連続で採択されており、留学先によって月額約7〜9万円の給付型の奨学金を留学中の全

期間にわたって受け取ることが可能ですが、グローバル・スタディーズ学科の学生にかぎり、1年間留学しても4年間で卒業可能なカリキュラムとなっています。

学科独自の海外研修科目としては、主にアジア圏で研修を行う1年次の「異文化体験」に加え、海外でのインターンシップを経験する2年次の「グローバル・インターンシップ」が今年度より新たに追加されました。今年度は、異文化体験は韓国ソウルでの研修、グローバル・インターンシップはアメリカのサンディエゴとオーストラリアのゴールドコーストでのインターンシップを行いました。これらの海外研修科目もしくは提携校の短期留学に初めて参加するグローバル・スタディーズ学科の学生には大学より10万円を限度とした補助金が支給されます。

さらに、グローバル・スタディーズ学科は、東北地方で唯一フロリダのデイズニワールドでのインターンシップに参加できるバレンシア大学デイズニ国際カレッジプログラムの提携を結んでおり、このプログラムに参加しても4年で卒業が可能です。パンドミックで一時中断していましたが、今年度から再開され、現在3年生1名がプログラムに参加中です。

教員の専門もコースの多様性を反映しており、学生の皆さんの関心に応じたゼミを選択して学びを深めることができます。少人数教育で、教員との距離も近く、将来の進路の希望にあった学びをしながら、多様な体験ができます。これから進路を考える皆さんの一助となれば幸いです。

白百合祭報告

白百合祭実行委員長 心理福祉学科3年

亀谷さくら

(出身校：新屋高等学校)



10月21日、22日の2日間にわたり第56回白百合祭が開催されました。今年度は2日間合わせて、1121名の方が来場してく

だされました。1日目は途中あいにくの雨に見舞われましたが、各有志団体の企画や4年ぶりに復活となったもちまちを来場者の姿が見られました。また2日目には、ゲストに平野ノラさん、Aマツッさんを迎えたお笑いライブを行いました。会場に笑顔が溢れる素敵な時間となりました。2日間通して、たくさんの方に満足頂けた白百合祭になったのではないかと思います。委員一同胸がいつばいです。

今年度は、「Every girl is a Princess」というテーマのもと、5月から白百合祭に向けて準備を進めてきました。女の子は誰でもプリンセスであり、誰もが主役になれるような白百合祭、女子大という大学の大きな魅力を十分に活かすことができた白百合祭になったのではないかと感じております。

無事大成功に終わった白百合祭でしたが準備期間にはたくさん課題にぶつかりました。4年ぶりの2日間開催ということもあり、上手くイメージができない部分がありました。また、白百合祭を経験したことのないメンバーも多く、無事に白百合祭を開催できるだろうか、という不安もありながら迎えた当日でしたが、来場してくださった方の笑顔を見ることができ、これまでの頑張りが報われたように感じました。

私自身も、実行委員長という大役を最後まで果たすことができたのかという不安や心配を抱えていましたが、多くの支えや協力をいただき大役を務めあげることができました。白百合祭にご尽力いただきました企業の皆さまや地域の皆さま、大学関係者の皆さまにこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。



クラブ紹介 聖歌隊 tutti♪

心理福祉学科4年

宮武凜奈

(出身校：名取北高等学校)



皆さん、こんにちは！ 聖歌隊 tutti♪です。私たちは、修養会や白百合祭等の校内行事、また

は校外でのイベントで聖歌や合唱曲を歌っています。

最近では、発声や声量により力を入れながら練習しています。聖歌隊は、アカペラで歌うことも多く、「響きをつくること」が大切です。フレーズに合わせて歌うことはもちろん、それ以上に周りの声を聴きながら合わせることに重要になります。今年度は、ありがたいことに1年生が5人入部しました。人数が増えたからこそ、1人1人声を響かせて「歌詞」と「和音」を届けたいです。

今年度は、仙台白百合学園高等学校の学園祭でも歌わせて頂きました。土日続けて発表しましたが、2日目は多くの高校生が来てくださりました。聖歌隊の活動を多くの方に知ってもらいたく、校外での活動も増やそうと考えています。先輩方が引き継いできた伝統のサークルなので、積極的かつ楽しく活動していきます。今後の活動も、注目頂けたら嬉しいですね。



韓国留学での素晴らしい経験

グローバル・スタディーズ学科3年

遠藤みなみ

(出身校：仙台白百合学園高等学校)

私は2022年8月の下旬から今年2023年の8月上旬まで、約1年間韓国のソウルにある「韓国カトリック大学校」で留学をしました。大きい大学でたくさんの韓国人の学生がいる中、様々な国から来た留学生たちもたくさんいました。

私は語学堂で韓国語の授業を平日毎日午前中に取り、午後は自分の好きな授業を現地の学生と一緒に取っていました。私は語学の勉強が好きなので、英語とフランス語の授業を取り、その他にも映画に関する授業や韓国文化の授業も取っていました。授業はそれぞれ英語・フランス語・韓国語で行われました。外国語を外国語で学ぶのは初めてだったため最初はついていけない心配でしたが、たくさん友達を作ったおかげでみんながいつも助けてくれました。語学堂は自分のレベルに合ったクラスに行くことができるため、日本で韓国語を勉強せずに来てしまった私でも無事授業をパスし、優秀賞まで受け取ることができました。

小さいころからの夢であった留学を叶えることができ、留学していた当時から、留学を終えて帰国した今もとても幸せです。この経験を生かしてこれから自分の夢を探して叶えられるようにさらに頑張っていきたいです。



ランチタイムコンサート

人間発達学科4年
人間発達学科4年
川口花蓮
(出身校：水沢第一高等学校)

人間発達学科の四家ゼミでは、ランチタイムコンサートを開催しています。学生イベント・コンテストに採択された企画で、地域と大学のつながりや活性化を目指し、学生や教職員、地域の方々など誰でも気軽に聞ける全3回のコンサートです。現在は第2回まで終え、残すは第3回のコンサートのみとなりました。第1回は千先生ゼミの人形劇「赤ずきん」と四家ゼミ4年生によるハーブのアンサンブルを、第2回は仙台白百合学園小学校音楽教諭の古川詠子先生のソプラノと岡先生のバイオリン、四家先生のピアノによるコンサートを行いました。お客様に聞いていただく貴重な経験を通して、音楽への想いが大きくなり、心に届く音楽を奏でられるようさらに精進したいと思います。次回は12月21日(木)の12:15~12:55に「クリスマスコンサート」を行います。ハンドベルなどクリスマススの雰囲気味わえるプログラムを予定しているので、皆様ぜひ足を運びください。最後に、大学広報室の皆様、お力添えをいただき誠にありがとうございます。ゼミ一同、心より感謝申し上げます。



オペレッタ(シンデレラ)

人間発達学科4年
池田美空
(出身校：聖ウルスラ学院英智高等学校)



4年生の前期では、授業の中でシンデレラの劇に挑戦させていただきました。コロナ禍で入学した私たちにとつて、学年全員で何かに取り組むという機会がなく、最後の最後で良い思い出作りとなりました。練習では全員で役と係を分担し、それぞれの持ち味を生かして進めることが出来ました。特に個々の役が輝いて見えるように全員で工夫を重ねる時間は、人間発達学科の特徴である優しさや協力しようとする姿勢を改めて実感することが出来ました。また、リーダーが中心となつて言葉の抑揚や体の動きにもこだわることで保育者としての表現力を養い、子ども相手にもどのように教えていけばいいのかという新たな課題も生まれました。本番は子どもたちの夢中な眼差しを直接ステージで受け取り、達成感を味わうことが出来ました。皆のことを知り尽くした4年生のこの時期だからこそ楽しく達成できたミッションだったと思います。先生方、発達の皆、ありがとうございました。



縁日企画の報告

心理福祉学科3年
加藤咲良
(出身校：一関第二高等学校)

SFGでは心理福祉学科の皆さんが関わるものが出来たり仲良くなれるような企画を立案、運営したいと考えており、四季に合わせて1つずつ企画を行っています。夏に関してはYukatada Dayに合わせて縁日の企画を行うことにしました。射的、輪投げ、ヨーヨー釣りなど浴衣を着て楽しめそうなお祭りをイメージした企画を考えて準備をし、行いました。景品なども用意してみんなに楽しんで貰えたらいいなと思いいSFGの企画班をメインに準備や話し合いを勧め企画を実行しました。当日はYukatada Dayと合わせたことから先生方や他学科の方にも参加してもらい楽しい会を開くことが出来ました。SFGのメンバーも忙しい中準備を行ったり、企画運営のためのミーティングや買い出しなど先生との連絡を取りあつたり学生課に申請したりなど様々な仕事を行ってもらいとても充実したものでありました。浴衣姿の方もそう出ない方も楽しく参加していただけたようで見ているだけで私自身嬉しくなりました。



国際問題解決を体感する模擬国連

グローバル・スタディーズ学科講師
マスローセバステイアン

2022年11月、本学GS学科の国際関係論ゼミの学生が、山形大学人文社会科学部の学生と共に模擬国連会議を実施しました。模擬国連とは、学生が一国の大使として実際の国連の会議をシミュレーションする活動であり、国内外の高校・大学で盛んに行われています。学生は、会議の議題と自分が担当する国の実情や外交政策を事前にリサーチして会議に臨みます。昨年度はウクライナ侵攻を議題として国連総会緊急特別会合という設定で行いました。機能不全に陥っている安全保障理事会に代わって紛争解決を試みている総会ですが、合意形成は困難を極めており、その分断化した国際社会の実情を反映してか、模擬国連でも交渉や調整は大変難航しました。学生たちにとつて、現実の国際社会における紛争解決の難しさを体感することが出来るよい機会でした。最初は手探りだった学生たちが会議終盤に向けて急成長する姿を見せてくれたのが大きな成果でした。今年度は地球温暖化をテーマとしてCOP28の設定で行います。本学の教育理念に沿ったグローバル社会に貢献できる人材育成のため、今後もこの活動を続けます。





和田美稚子先生を偲ぶ

学長 矢口 洋生

本学の元学長、スール・マリ・テレーズ和田美稚子先生が2023年10月4日、敗血症のために帰天されました。和田先生は、仙台白百合短期大学の開学前年度から設立準備に関わり、設立時には助教授として赴任されました。その後、一時期東京の白百合女子大学で勤務された後、1988年度に、仙台白百合短期大学の英語科設置時に学長に就任されました。1996年度から1999年度には仙台白百合女子大学の初代学長に就任され、その後、立場を変えて事務局から大学を支え、2009年度から2011年度まで再び学長

に就任されました。

先生はいつも姿勢がよく、大学の揺籃期に張りのある快活な声で、はっきりと教職員に進めるべき道を指示してくださいました。普段は、細やかなお心遣いをもってひとり一人に温かいことばを投げられていたことも印象的です。先生が理想をもって育ててくださったこの大学が、その想いを継承し、さらに発展してその使命を全うできることを願ってやみません。

留学生紹介

ほん じん 政見

こんにちは。私は25歳の韓国・釜慶大学校から留学してきたホン ジョンヒョンと申します。私は日本語の勉強がしたくて留学を決めました。周りからは仙台に何もなければなになぜ行くのかと止められましたが、むしろ言語を学ぶのにもっと良い環境だと思ったので仙台に来ることになりました。仙台白百合女子大学で一ヶ月間勉強して感じたことは授業時間が韓国より短くて良いです！そして学生食堂のご飯も安くておいしいからいいです。もう2ヶ月後には2024年ですが、残った期間中良い思い出を作りたいです。これからよろしくお願いします。



ら いせん 羅 苡瑄

みなさん、こんにちは。私は静宜大学から来た留学生の羅 苡瑄と申します。出身地は台湾の台中市です。専攻は日本語で、授業以外の時間はHey!Say!JUMPというアイドルグループの番組や、Vtuberのゲーム配信を見て日本語を勉強しています。日本に留学したきっかけは、日本語能力を更に向上させ、日本文化を深く知りたいです。仙台に来てからまだ一か月しか経っていませんが、ここでの経験はとても豊かで素晴らしいものとなっています。みなさんはとても親切で、私が知らない日本語の単語やフレーズに対して、気軽に教えてくれることに感謝しています。これからも、みなさんと共に日本語と日本文化を楽しみながら学び続け、素晴らしい留学生生活を過ごしたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いします。



りん しゅ 林 思瑜

皆さん、こんにちは！私は台湾から来た留学生 林 思瑜と申します。開南大学日本語学科五年生、副専攻は国際管理学科です。高校の時、日本語の発音が綺麗だと思って、独学で日本語を学びました。日本の興味が段々深くなったので、日本に交換留学は夢を叶えることができました。仙台に来て一ヶ月だけなので、学校の先生とクラスメートは皆親切で、言語や文化の問題または分からないことがあっても熱心に助けてくれました。誠にありがとうございます。それと大学の環境は非常に綺麗で、学業に集中できる雰囲気がありました。特に図書館で本を読むことが好きです。図書館は私にとって特別な場所であり、読書を楽しむことができる穏やかな場所です。もし機会があれば、日本の初詣と着物を体験したいです。これからもよろしく申し上げます。



2022年度 財務報告 financial report

2022年度財務報告・寄付金募集について

資金収支計算書 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,005,471,000	1,008,989,700	△ 3,518,700
手数料収入	10,670,000	8,637,800	2,032,200
寄付金収入	9,400,000	12,943,000	△ 3,543,000
補助金収入	210,670,000	192,539,728	18,130,272
国庫補助金収入	210,000,000	191,921,300	18,078,700
地方公共団体補助金収入	670,000	618,428	51,572
その他補助金収入	0	0	0
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	14,750,000	15,950,500	△ 1,200,500
受取利息・配当金収入	3,500,000	3,604,620	△ 104,620
雑収入	67,500,000	68,473,385	△ 973,385
借入金等収入	111,115,660	111,115,660	0
前受金収入	137,495,000	127,925,000	9,570,000
その他の収入	118,623,040	137,493,685	△ 18,870,645
資金収支調整勘定	△ 213,625,000	△ 213,623,480	△ 1,520
前年度繰越支払資金	168,859,439	168,859,439	0
収入の部合計	1,644,429,139	1,642,909,037	1,520,102
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	982,950,000	979,523,182	3,426,818
教育研究経費支出	299,850,000	297,169,608	2,680,392
管理経費支出	91,375,000	89,422,672	1,952,328
借入金等利息支出	8,355,660	8,355,660	0
借入金等返済支出	102,760,000	102,760,000	0
施設関係支出	17,050,000	13,860,000	3,190,000
設備関係支出	18,200,000	16,130,261	2,069,739
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	48,507,317	56,930,745	△ 8,423,428
(予備費)	3,900,000	3,900,000	0
資金支出調整勘定	△ 81,900,000	△ 83,628,342	1,728,342
翌年度繰越支払資金	153,381,162	162,385,251	△ 9,004,089
支出の部合計	1,644,429,139	1,642,909,037	1,520,102

貸借対照表 令和5年3月31日 (単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,321,391,209	3,481,446,300	△ 160,055,091
有形固定資産	2,920,268,789	3,030,323,880	△ 110,055,091
土地	41,666,199	41,666,199	0
建物	2,291,502,280	2,377,414,931	△ 85,912,651
構築物	4,808,918	7,902,928	△ 3,094,010
教育研究用機器備品	155,767,668	177,224,709	△ 21,457,041
管理用機器備品	5,946,106	7,160,485	△ 1,214,379
図書	419,631,769	417,358,414	2,273,355
車両	945,849	1,596,214	△ 650,365
建設仮勘定	0	0	0
特定資産	400,000,000	450,000,000	△ 50,000,000
減価償却引当特定資産	0	50,000,000	△ 50,000,000
退職給与引当特定資産	400,000,000	400,000,000	0
第3号基金引当特定資産	0	0	0
その他の引当特定資産	0	0	0
その他の固定資産	1,122,420	1,122,420	0
著作権	0	0	0
その他の固定資産	1,122,420	1,122,420	0
流動資産	232,722,823	254,904,832	△ 22,182,009
現金預金	162,385,251	168,859,439	△ 6,474,188
未収入金	63,638,480	68,623,040	△ 4,984,560
その他の流動資産	6,699,092	17,422,353	△ 10,723,261
資産の部合計	3,554,114,032	3,736,351,132	△ 182,237,100
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,352,201,614	1,288,824,488	63,377,126
長期借入金	864,842,480	801,486,820	63,355,660
退職給与引当金	487,359,134	487,337,668	21,466
その他の固定負債	0	0	0
流動負債	329,417,127	371,632,146	△ 42,215,019
短期借入金	102,760,000	157,760,000	△ 55,000,000
前受金	127,925,000	149,985,000	△ 22,060,000
その他の流動負債	98,732,127	63,887,146	34,844,981
負債の部合計	1,681,618,741	1,660,456,634	21,162,107
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	7,817,041,129	7,700,165,220	116,875,909
第1号基本金	7,726,041,129	7,609,165,220	116,875,909
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	91,000,000	91,000,000	0
繰越収支差額	△ 5,944,545,838	△ 5,624,270,722	△ 320,275,116
翌年度繰越収支差額	△ 5,944,545,838	△ 5,624,270,722	△ 320,275,116
純資産の部合計	1,872,495,291	2,075,894,498	△ 203,399,207
負債及び純資産の部合計	3,554,114,032	3,736,351,132	△ 182,237,100

事業活動収支計算書 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位 円)

事業活動収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,005,471,000	1,008,989,700	△ 3,518,700
手数料	10,670,000	8,637,800	2,032,200
寄付金	9,400,000	12,943,000	△ 3,543,000
経常費等補助金	210,670,000	192,539,728	18,130,272
国庫補助金収入	210,000,000	191,921,300	18,078,700
地方公共団体補助金収入	670,000	618,428	51,572
その他補助金収入	0	0	0
付随事業収入	14,750,000	15,950,500	△ 1,200,500
雑収入	67,500,000	68,473,385	△ 973,385
教育活動収入合計	1,318,461,000	1,307,534,113	10,926,887
事業活動支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	982,960,000	979,544,648	3,415,352
教育研究経費	430,850,000	428,295,810	2,554,190
管理経費	102,075,000	100,095,325	1,979,675
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出合計	1,515,885,000	1,507,935,783	7,949,217
教育活動収支差額	△ 197,424,000	△ 200,401,670	2,977,670
事業活動外収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
受取利息・配当金	3,500,000	3,604,620	△ 104,620
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入合計	3,500,000	3,604,620	△ 104,620
事業活動外支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
借入金等利息	8,355,660	8,355,660	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出合計	8,355,660	8,355,660	0
教育活動外収支差額	△ 4,855,660	△ 4,751,040	△ 104,620
経常収支差額	△ 202,279,660	△ 205,152,710	2,873,050
特別収入			
科 目	予 算	決 算	差 異
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	2,480,193	△ 2,480,193
施設設備寄付金	0	0	0
現物寄付	0	2,480,193	△ 2,480,193
施設設備補助金	0	0	0
特別収入合計	0	2,480,193	△ 2,480,193
事業活動外支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
資産処分差額	800,000	726,690	73,310
その他の特別支出	0	0	0
特別支出合計	800,000	726,690	73,310
特別収支差額	△ 800,000	1,753,503	△ 2,553,503
(予備費)	3,100,000	3,100,000	0
基本金組入前当年度収支差額	△ 206,179,660	△ 203,399,207	△ 2,780,453
基本金組入額合計	△ 120,400,000	△ 116,875,909	△ 3,524,091
当年度収支差額	△ 326,579,660	△ 320,275,116	△ 6,304,544
前年度繰越収支差額	△ 5,624,270,722	△ 5,624,270,722	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 5,950,850,382	△ 5,944,545,838	△ 6,304,544
(参考)			
事業活動収入合計	1,321,961,000	1,313,618,926	8,342,074
事業活動支出合計	1,528,140,660	1,517,018,133	11,122,527

寄付金の御礼

本学の寄付金は、教育・研究環境の整備と奨学資金等に充当させていただいております。2022(令和4)年10月1日から2023(令和5)年9月30日までの寄付状況を報告いたします。皆様のご協力に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

【寄付者御芳名】(順不同 敬称略)

- | | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大島 知美 | 菅原 さつき | 高澤 まさ子 | 吉田 豊子 | 坂根 治美 | 志田 昌幸 | 矢口 洋生 | 大木 泉 | 谷内 一彦 | 相澤 孝子 |
| 山城 秋美 | 高田 治子 | 高橋 千恵子 | 新田 華子 | 納庄 克子 | 鈴木 真司 | 大塚 洋子 | 両金 邦明 | 増田 幹司 | 伊藤 敏彦 |
| 森 道子 | 白鳥 マリ | 古内 幾子 | 佐藤 昌子 | 武田 絵美 | 杉村 しおり | 戸田 真弓 | 千田 きぬゑ | 西館 富久子 | 浅野 恵子 |
| 湊 順子 | 本宮 こころ | 天粕 裕子 | 内村 悦子 | 渡辺 好子 | 中山 久美子 | 高澤 菜穂子 | 山口 富美子 | 藤井 恵美 | 相澤 葉月 |
| 曳地 望 | 堀江 秋子 | 新妻 和子 | 小野 和子 | 大野 輔 | 半澤 一徳 | 塚本 亜衣 | 村上 節 | 早坂 牧子 | 熊谷 香 |
| 熊谷 和史 | 佐藤 清隆 | 寺崎 公二 | 高橋 信廣 | 高橋 儀成 | 工藤 正巳 | 福島 裕一 | 後藤 雪乃 | 相澤 友子 | 剣持 明世 |
| 三浦 一義 | 古川 知子 | 森 清一 | 佐藤 智江 | 菊地 絵里香 | 千葉 倫史 | 大竹 一晴 | 高橋 幸治 | 四戸 達也 | 大和 摩利子 |
| 松橋 郁子 | 五十嵐 敬一 | 秋山 紳一 | 佐藤 忍 | 中澤 京一 | 土屋 智晴 | 佐々木 崇 | 小田島 毅 | 佐藤 弘道 | 佐藤 司 |
- マイクロアルジェコーポレーション株式会社 他 匿名10名 同名1名

区 分	件数	金 額
在学生保証人	36	560,000
教 職 員 等	10	2,220,000
団体・法人等	3	8,440,000
一般篤志家等	0	0
同 窓 生	44	530,000
計	93	11,750,000

寄付金担当(庶務課)
 電話 022-372-3254
 FAX 022-375-4343
 E-mail shomu@sendai-shirayuri.ac.jp

